



Elysium DFAS Studio™

## Elysium DFAS Studio インストールガイド

株式会社エリジョン

2023年1月

# 目次

1. はじめに .....	2
1.1. インストールおよび設定の流れ .....	3
1.2. 処理の実行方法に応じた各アプリケーションのインストール先 .....	4
1.2.1. SmartLauncher (Standalone) で処理を実行する場合 .....	4
1.2.2. SmartLauncher (Plug-in) で処理を実行する場合 .....	5
1.2.3. SmartController で処理を実行する場合 .....	5
1.2.4. SmartController Pro で処理を実行する場合 .....	5
1.2.5. TransServer で処理を実行する場合 .....	6
1.3. DFAS Studio 関連マニュアル .....	7
2. ライセンスの準備 .....	8
2.1. Sentinel RMS License Manager のインストール .....	8
3. 処理実行用アプリケーションのインストール .....	10
3.1. Components のインストール .....	10
3.2. DFX Analyzer のインストール .....	11
3.3. SmartLauncher のインストール .....	11
3.4. SmartController のインストール .....	12
3.5. SmartController Pro のインストール .....	12
3.6. WorkerNode のインストール .....	13
3.6.1. WorkerNode の設定 .....	13
3.7. TransServer のインストール .....	13
3.7.1. TransServer の設定 .....	14
4. 処理を実行するための設定 .....	15
4.1. シナリオフォルダーの設定と配置 .....	15
4.2. パラメーターファイルの作成 .....	18
4.3. シナリオパラメーターセットの作成と更新 .....	20
4.3.1. シナリオパラメーターセットとは .....	20
4.3.2. シナリオパラメーターセットの作成手順 .....	20
4.3.3. シナリオパラメーターセットの更新手順 .....	25
5. 処理結果確認用アプリケーションのインストール .....	28
5.1. Model Viewer のインストール .....	28
5.2. Inspector のインストール .....	28
6. 付録 .....	30
6.1. DFAS Studio 関連製品のアンインストール手順 .....	30

6.1.1. DFX Analyzer.....	30
6.1.2. Inspector.....	30
6.2. DFAS Studio 関連製品のサイレントインストール手順.....	30
6.2.1. DFX Analyzer.....	30
6.2.2. Inspector.....	30
6.3. DFAS Studio 関連製品のサイレントアンインストール手順.....	31
6.3.1. DFX Analyzer.....	31
6.3.2. Inspector.....	31
7. DFX シナリオリスト.....	33

## モジュールパッケージについて

Elysium DFAS Studio の全モジュールパッケージは、Elysium DFAS Studio カスタマーページで公開されています。公開されているモジュールパッケージの一覧は以下の通りです。

- Base パッケージ (ドキュメント一式)
- 3DxSUITE Components パッケージ
- 3DxSUITE Viewer パッケージ
- 3DxSUITE Inspector パッケージ
- 3DxSUITE SmartController パッケージ
- 3DxSUITE SmartController Pro パッケージ
- 3DxSUITE TransServer パッケージ
- 3DxSUITE WorkerNode パッケージ
- Scenario パッケージ (シナリオファイル一式)
- DFAS Studio Parameter Settings Tool パッケージ
- License Server パッケージ (Sentinel RMS License Manager インストーラー)



本ドキュメント中で各パッケージに言及する際には <> で囲って表記します。  
(例: "サンプルスクリプトは <Base パッケージ> に含まれています。")

## DFAS Studio v1.0 正式版のインストールについて

2022 年 10 月 7 日にリリースされた DFAS Studio v1.0 beta 版をインストールした環境に DFAS Studio v1.0 正式版をインストールする場合には、以下の手順を実施してください。

1. DFAS Studio v1.0 beta 版のセットアップの中でインストールした 3DxSUITE EX9.1 をアンインストールします。
2. DFAS Studio v1.0 正式版に含まれる以下のファイルを管理者権限で実行し、不要な設定ファイルを削除します。

<Base パッケージ>\util\Tools\remove\_setting\_folders.bat

3. DFAS Studio v1.0 正式版をインストールします。

# 1. はじめに

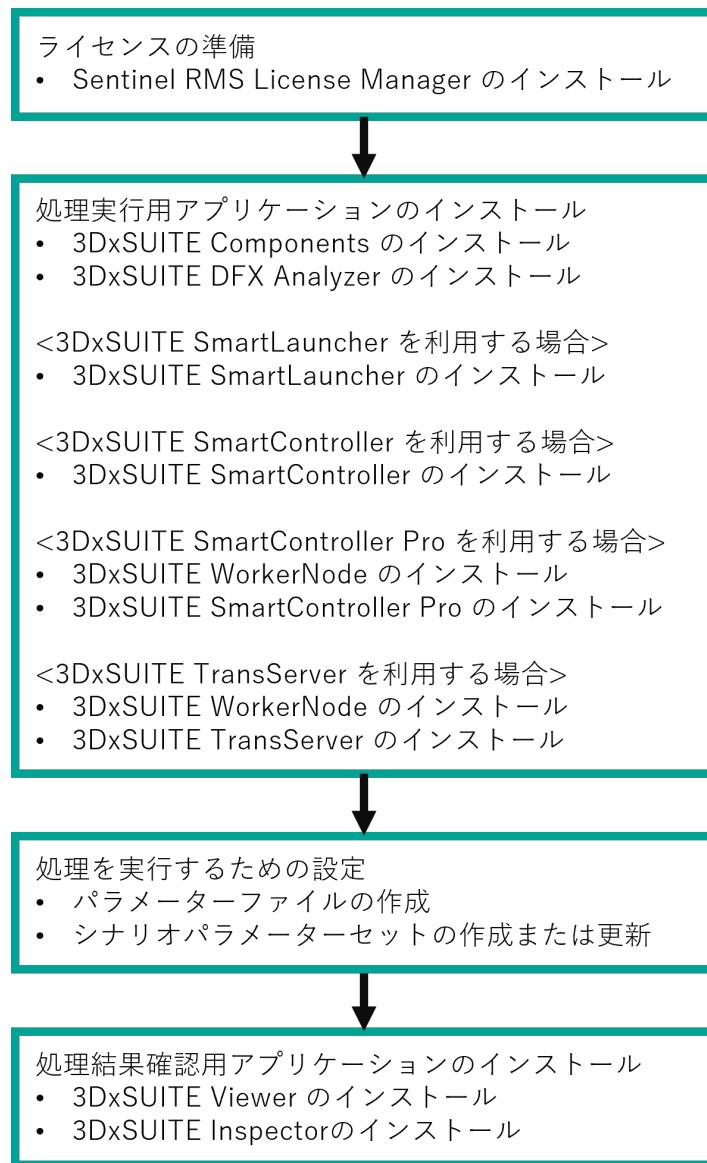
本マニュアルでは、Elysium DFAS Studio (以下、DFAS Studio と記載します) をセットアップする方法について説明します。

DFAS Studio は Elysium 3DxSUITE (以下、3DxSUITE と記載します) のコンポーネントのひとつである "Elysium 3DxSUITE DFX Analyzer" (以下、DFX Analyzer と記載します) として実装されています。従って DFAS Studio で処理を実行するためには、最初に 3DxSUITE をセットアップする必要があります。またそれとは別に、DFAS Studio の出力する分析結果が意図したものになるよう、DFAS Studio のパラメーターを正しく設定する必要があります。

このため本ドキュメントでは、DFAS Studio の処理を実行するために必要となる 3DxSUITE 製品のインストール手順と各種の設定方法を記載しています。またそれらと併せて、DFAS Studio の処理結果を確認、評価するためのアプリケーションである 3DxSUITE Viewer、および 3DxSUITE Inspector のインストール手順についても記載しています。

## 1.1. インストールおよび設定の流れ

3DxSUITE のインストール手順および DFAS Studio の設定手順の概要は以下の通りです。 それぞれの手順の詳細は次章以降で説明します。



図にある通り、さまざまな使用状況に対応できるよう、DFAS Studio の処理を実行する方法はファイルエクスプローラーコンテキストメニュー、CADへの組み込みメニュー、デスクトップアプリケーション、Web アプリケーションの 4 種類を用意しています。どの方法で処理を実行するかに応じて、インストールするアプリケーションを選択する必要があります。

- ファイルエクスプローラーのコンテキストメニュー: 3DxSUITE SmartLauncher (Standalone)
- CAD への組み込みメニュー: 3DxSUITE SmartLauncher (Plug-in)
- デスクトップアプリケーション: 3DxSUITE SmartController, 3DxSUITE SmartController Pro
- Web アプリケーション: 3DxSUITE TransServer

3DxSUITE SmartController Pro または 3DxSUITE TransServer を選択した場合には、3DxSUITE

WorkerNode もインストールする必要があります。

これ以降、それぞれのアプリケーションの名称を以下のように略して記載します。



- 3DxSUITE SmartLauncher (Plug-in) → SmartLauncher (Plug-in)
- 3DxSUITE SmartController → SmartController
- 3DxSUITE SmartController Pro → SmartController Pro
- 3DxSUITE TransServer → TransServer
- 3DxSUITE SmartLauncher (Standalone) → SmartLauncher (Standalone)
- 3DxSUITE WorkerNode → WorkerNode
- 3DxSUITE Viewer → Model Viewer
- 3DxSUITE Inspector → Inspector
- 3DxSUITE ScenarioEditor<sup>\*1</sup> → ScenarioEditor

\*1: ScenarioEditor は DFAS Studio で実行する処理の流れ(シナリオ)を定義、編集するためのアプリケーションです。

## 1.2. 処理の実行方法に応じた各アプリケーションのインストール先

処理を実行する方法ごとに、インストールするアプリケーションとそのインストール先の典型的なパターンを以下にまとめました。実行するインストーラー、実行する対象となるコンピューター、実行する順序を、処理の実行方法ごとに記載しています。こちらに記載している内容、想定している使用方法、所有しているライセンス、負荷の分散などを考慮して、いずれのアプリケーションをどのコンピューターにインストールするかを決定してください。

いずれのパターンについてもライセンスサーバーを "コンピューター L<sup>\*2</sup>" というコンピューター、処理結果確認用アプリケーションを "コンピューター C<sup>\*3</sup>" というコンピューターにインストールすることとします。

### 1.2.1. SmartLauncher (Standalone) で処理を実行する場合

SmartLauncher (Standalone) を用いて、Windows のコンテキストメニューから DFAS Studio の処理を実行するコンピューターを "コンピューター A" とすると、インストーラーの実行順序、対象コンピューター、インストーラーは以下の通りになります。

導入順序	対象コンピューター	インストーラー
1	コンピューター L <sup>*2</sup>	setup.exe
2	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe
3	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_DFX.exe

導入順序	対象コンピューター	インストーラー
4	コンピューター C <sup>*3</sup>	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Viewer.exe
5	コンピューター C <sup>*3</sup>	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Inspector.exe

## 1.2.2. SmartLauncher (Plug-in) で処理を実行する場合

SmartLauncher (Plug-in) を用いて、CAD に組み込まれたメニューから DFAS Studio の処理を実行するコンピューターを "コンピューター A" とすると、インストーラーの実行順序、対象コンピューター、インストーラーは以下の通りになります。 ("コンピューター A" にはメニューが組み込まれる CAD がインストールされている必要があります。)

導入順序	対象コンピューター	インストーラー
1	コンピューター L <sup>*2</sup>	setup.exe
2	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe
3	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_DFX.exe
4	コンピューター C <sup>*3</sup>	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Viewer.exe
5	コンピューター C <sup>*3</sup>	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Inspector.exe

## 1.2.3. SmartController で処理を実行する場合

SmartController を用いて DFAS Studio の処理を実行するコンピューターを "コンピューター A" とすると、インストーラーの実行順序、対象コンピューター、インストーラーは以下の通りになります。

導入順序	対象コンピューター	インストーラー
1	コンピューター L <sup>*2</sup>	setup.exe
2	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe
3	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_DFX.exe
4	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartController.exe
5	コンピューター C <sup>*3</sup>	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Viewer.exe
6	コンピューター C <sup>*3</sup>	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Inspector.exe

## 1.2.4. SmartController Pro で処理を実行する場合

SmartController Pro は、実際の処理を WorkerNode で実行します。一般的には、SmartController Pro と WorkerNode を別々のコンピューターにインストールすることができます。 SmartController Pro をインストールする対象を "コンピューター A"、WorkerNode をインストールする対象を "コンピューター B" としたとき、インストーラーの実行順序、対象コンピューター、インストーラーは以下の通りになります。

導入順序	対象コンピューター	インストーラー
1	コンピューター L <sup>*2</sup>	setup.exe
2	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_SmartController_Pro.exe
3	コンピューター B	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe
4	コンピューター B	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_DFX.exe
5	コンピューター B	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_WorkerNode.exe
6	コンピューター C <sup>*3</sup>	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Viewer.exe
7	コンピューター C <sup>*3</sup>	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Inspector.exe

## 1.2.5. TransServer で処理を実行する場合

TransServer は実際の処理を WorkerNode で実行します。また TransServer はサーバー OS の動作するコンピューターに、WorkerNode はクライアント OS の動作するコンピューターにインストールする必要があります。TransServer をインストールする対象を "コンピューター A"、WorkerNode をインストールする対象を "コンピューター B" としたとき、インストーラーの実行順序、対象コンピューター、インストーラーは以下の通りになります。

導入順序	対象コンピューター	インストーラー
1	コンピューター L <sup>*2</sup>	setup.exe
2	コンピューター A	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_TransServer.exe
3	コンピューター B	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Components.exe
4	コンピューター B	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_DFX.exe
5	コンピューター B	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_WorkerNode.exe
6	コンピューター C <sup>*3</sup>	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Viewer.exe
7	コンピューター C <sup>*3</sup>	Elysium_3DxSUITE_EX9.1_Inspector.exe

\*2: ライセンスサーバーをインストールする "コンピューター L" は、"コンピューター A"、"コンピューター B"、"コンピューター C" のいずれかと同一のコンピューターでも、それらとは別のコンピューターでも問題ありません。ただし、他のコンピューターとネットワーク経由で通信できるようにしておく必要があります。



\*3: 処理結果確認用アプリケーションをインストールする "コンピューター C" は、"コンピューター A"、"コンピューター B"、"コンピューター L" のいずれかと同一のコンピューターでも、それらとは別のコンピューターでも問題ありません。ただし、"コンピューター C" ではクライアント OS が動作している必要があります。

## 1.3. DFAS Studio 関連マニュアル

DFAS Studio を利用する際の手順や設定を行う上で必要となる情報を記載しているマニュアルの一覧は以下の通りです。実施したい内容や自身の役割に応じて、適切なマニュアルを参照してください。

#	マニュアル名	管理者向け	ユーザー向け
1	Elysium DFAS Studio インストールガイド (本ドキュメント)	○	
2	DFAS Studio Parameter Settings Tool 操作ガイド	○	○
3	Elysium 3DxSUITE Inspector 操作マニュアル (Elysium DFAS Studio 向け)		○
4	Elysium DFAS Studio チュートリアル		○
5	車両内外突起 検証項目/形状認識設定ガイド	○	○



必要に応じて、3DxSUITE のマニュアルも参照してください。3DxSUITE 関連マニュアルの一覧は "Elysium 3DxSUITE 製品概要" の 6 章に記載しています。

### 管理者向けドキュメントの主な使い方

#1 を参照し、自社の環境に合わせて 3DxSUITE と DFAS Studio のインストールおよび設定を実施してください。また自社の設計標準を用いて検証を実行したい場合には、#2 と #5 を参照してパラメーターファイルを作成してください。

### ユーザー向けドキュメントの主な使い方

#3 および #4 を参考にして、検証の実行方法や Inspector の操作方法を確認してください。また自社の設計標準を用いて検証を実行したい場合には、#2 と #5 を参照してパラメーターファイルを作成してください。

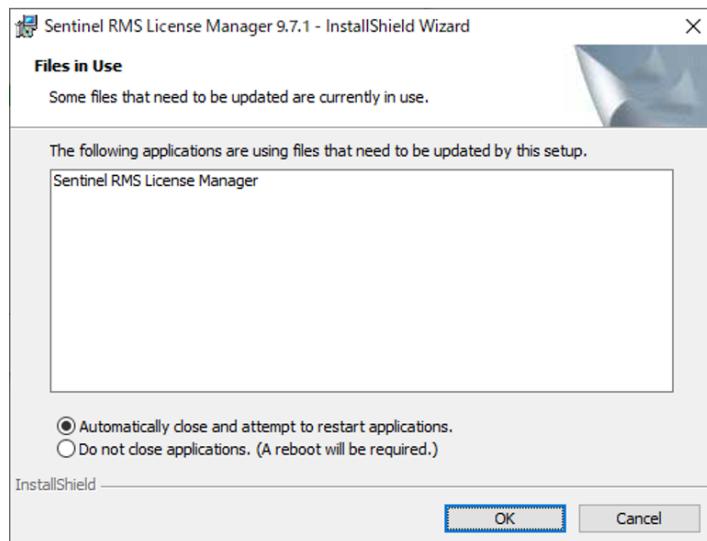
## 2. ライセンスの準備

本章では、DFAS Studio を使用する上で必要となるライセンスサーバーのインストール手順を説明します。

### 2.1. Sentinel RMS License Manager のインストール

DFAS Studio を構成する各製品は、Thales 社製の Sentinel RMS License Manager によりライセンス管理されます。以下のインストーラーを実行して、Sentinel RMS License Manager をインストールしてください。インストール手順の詳細は、別冊 "Sentinel RMS License Manager セットアップ & クイックスタートガイド" を参照してください。

- Sentinel RMS License Manager インストーラー:  
<License Server パッケージ>\installer\setup.exe
- Sentinel RMS License Manager セットアップ & クイックスタートガイド:  
<License Server パッケージ>\document\LicenseServer\_QuickStartGuide\_ja.pdf
  - 以前のバージョンの Sentinel RMS License Manager がインストールされている環境でインストーラーを実行した場合、インストール中に以下のようなダイアログが表示される場合があります。  
このダイアログが表示された場合には、"Automatically close and attempt to restart applications." を選択して [OK] をクリックしてください。





- Sentinel RMS License Manager は、DFAS Studio 製品をインストールするコンピューターと同じコンピューターにインストールすることも、別のコンピューターにインストールすることも可能です。  
別のコンピューターにインストールする場合には、そのコンピューターに対して DFAS Studio 製品がインストールされるコンピューターからネットワーク経由で通信できるようにしておく必要があります。
- Sentinel RMS License Manager は対象となる環境で 1 台のコンピューターにだけインストールすればよく、DFAS Studio 製品をインストールするすべてのコンピューターにインストールする必要はありません。

## 3. 処理実行用アプリケーションのインストール

本章では、DFAS Studio の処理を実行する際に利用するアプリケーションのインストール手順を説明します。

それぞれのアプリケーションのうち、3DxSUITE Components (以下、Components と記載します) と DFX Analyzer は、以下のアプリケーションをインストールする環境に一緒にインストールする必要があります。

- SmartLauncher (Standalone)
- SmartLauncher (Plug-in)
- SmartController
- WorkerNode

また DFAS Studio で処理を実行する際に利用するアプリケーションとしては、以下の 4 種類を提供しています。

- ファイルエクスプローラーのコンテキストメニュー: SmartLauncher (Standalone)
- CAD への組み込みメニュー: SmartLauncher (Plug-in)
- デスクトップアプリケーション: SmartController, SmartController Pro
- Web アプリケーション: TransServer

3.3. “SmartLauncher のインストール” 以降の各節では、それぞれのアプリケーションについてインストール手順を説明しています。処理を実行する際に利用するアプリケーションに応じて適切な手順を選択し、実行してください。

### 3.1. Components のインストール

以下のインストーラーを実行して、Components をインストールしてください。インストール手順の詳細は、別冊 "Elysium 3DxSUITE インストールガイド" の "2. Elysium 3DxSUITE Components" を参照してください。

- インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE Components パッケージ>\
- インストーラー: Elysium\_3DxSUITE\_EX9.1\_Components.exe
- Elysium 3DxSUITE インストールガイド:  
<Base パッケージ>\doc\Common\3DxSUITE\_Installation\_Guide\_ja.pdf



特別な事情がない限り、セットアップタイプは "完全インストール" を選択してください。ディスクの空き容量が不足していて完全インストールができない場合にだけ "カスタムインストール" を選択し、実行する処理に必要なアプリケーションを選択してインストールしてください。

## 3.2. DFX Analyzer のインストール

以下の手順で DFX Analyzer をインストールしてください。



- DFX Analyzer のインストールは管理者権限のあるユーザーで実行してください。
- DFX Analyzer のインストールを実行すると、インストール済みの 3DxSUITE 製品が自動的に認識されます。

1. DFX Analyzer のインストーラーを実行します。
  - インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE Components パッケージ>\DFX
  - インストーラー: Elysium\_3DxSUITE\_EX9.1\_DFX\_Analyzer.exe
2. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。
3. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択してから [次へ] をクリックします。
4. インストール先のフォルダーは Components と同じインストール先になります。[次へ] をクリックします。
5. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。
6. [完了] をクリックしてインストールを終了します。

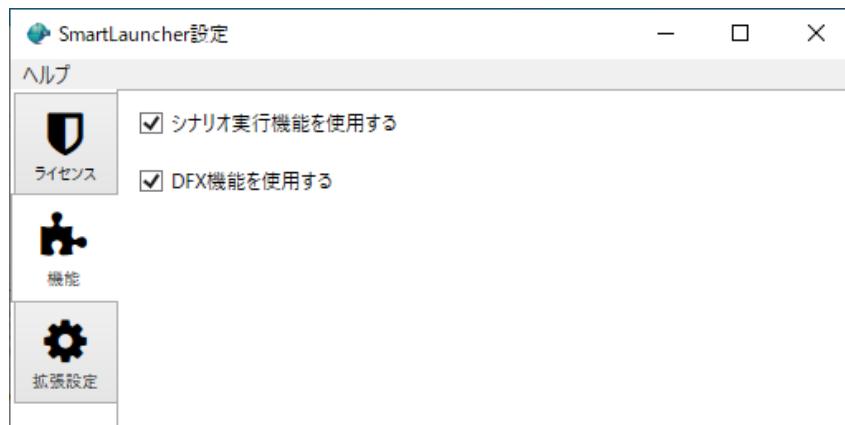
## 3.3. SmartLauncher のインストール

SmartLauncher はファイルを右クリックすると表示されるコンテキストメニューまたは CAD に組み込まれたメニューから処理を実行するためのアプリケーションです。

Components インストール時に併せてインストールされるため、個別にインストールする必要はありません。実行方法は以下のマニュアルを参照してください。ファイルを右クリックすると表示されるコンテキストメニューから実行する場合には、SmartLauncher (Standalone) に関する説明を参照してください。CAD に組み込まれたメニューから実行する場合には SmartLauncher (Plug-in) に関する説明を参照してください。

- Elysium 3DxSUITE インストールガイド:  
<Base パッケージ>\doc\Common\3DxSUITE\_Installation\_Guide\_ja.pdf

CAD に組み込まれたメニューから DFAS Studio を実行する場合には、"SmartLauncher設定" の [機能] タブで "DFX機能を使用する" を有効にする必要があります。



SmartLauncher設定の起動方法については、以下のマニュアルを参照してください。

<Base パッケージ>\doc\Front-End\3DxSUITE\_SmartLauncher\_Manual\_ja.pdf

## 3.4. SmartController のインストール

SmartController は指定したシナリオに定義されている一連の処理を実行するためのアプリケーションです。すべての処理を単一のコンピューター上で実行するため、負荷を分散させることはできません。複数のコンピューターに処理を分散して実行する場合には SmartController Pro が必要です。

SmartController は以下のインストーラーを実行してインストールしてください。インストール手順の詳細は、別冊 "Elysium 3DxSUITE インストールガイド" の "6. Elysium 3DxSUITE SmartController" を参照してください。

- インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE SmartController パッケージ>\
- インストーラー: Elysium\_3DxSUITE\_EX9.1\_SmartController.exe
- Elysium 3DxSUITE インストールガイド:  
<Base パッケージ>\doc\Common\3DxSUITE\_Installation\_Guide\_ja.pdf

## 3.5. SmartController Pro のインストール

SmartController Pro は指定したシナリオに定義されている一連の処理を実行するためのアプリケーションです。複数のコンピューターに処理を分散して実行できます。実際の処理を実行するコンピューター上には、WorkerNode をインストールしておく必要があります。

SmartController Pro は以下のインストーラーを実行してインストールしてください。インストール手順の詳細は、別冊 "Elysium 3DxSUITE インストールガイド" の "7. Elysium 3DxSUITE SmartController Pro" を参照してください。

- ・インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE SmartController Pro パッケージ>\
- ・インストーラー: Elysium\_3DxSUITE\_EX9.1\_SmartController\_Pro.exe
- ・Elysium 3DxSUITE インストールガイド:  
<Base パッケージ>\doc\Common\3DxSUITE\_Installation\_Guide\_ja.pdf

## 3.6. WorkerNode のインストール

WorkerNode は SmartController Pro および TransServer からの指示に基づいて、変換や CAD 比較といった処理を実行するためのアプリケーションです。SmartController Pro および TransServer は単独では処理を実行することができないため、それらのアプリケーションから接続可能なコンピューター上に WorkerNode も必ずインストールする必要があります。

以下のインストーラーを実行して、WorkerNode をインストールしてください。インストール手順の詳細は、別冊 "Elysium 3DxSUITE インストールガイド" の "9. Elysium 3DxSUITE WorkerNode" を参照してください。

- ・インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE WorkerNode パッケージ>\
- ・インストーラー: Elysium\_3DxSUITE\_EX9.1\_WorkerNode.exe
- ・Elysium 3DxSUITE インストールガイド:  
<Base パッケージ>\doc\Common\3DxSUITE\_Installation\_Guide\_ja.pdf

### 3.6.1. WorkerNode の設定

使用したい Component ("DFXA作成"、"DFXA更新"、"DFXレポート作成") の有効化および CAD の導入フォルダーなどコンポーネントの動作に必要な情報を設定します。

1. Windows スタートメニューから [Elysium 3DxSUITE WorkerNode] - [3DxSUITE WorkerNode EX9.1の設定] を選択します。
2. 設定可能なコンポーネントの一覧から使用したいコンポーネントを選択して [追加] をクリックします。
  - 設定の詳細は、別冊 "Elysium 3DxSUITE インストールガイド" の "9. Elysium 3DxSUITE WorkerNode" を参照してください。

## 3.7. TransServer のインストール

TransServer は Web ベースのアプリケーションです。処理負荷の分散を行うことができます。またユーザーの管理、Web API 経由での処理実行、特定フォルダー内に配置された 3D モデルデータに対する定義された処理の自動実行といった多様な機能も備えています。

実際の処理を実行するコンピューター上には、WorkerNode をインストールしておく必要があります。WorkerNode のインストール方法は [3.6. “WorkerNode のインストール”](#) を参照してください。

以下のインストーラーを実行して、TransServer をインストールしてください。インストール手順の詳細は、別冊 "Elysium 3DxSUITE インストールガイド" の "8. Elysium 3DxSUITE TransServer" を

参照してください。

- インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE TransServer パッケージ>\
- インストーラー: Elysium\_3DxSUITE\_EX9.1\_TransServer.exe
- Elysium 3DxSUITE インストールガイド:  
<Base パッケージ>\doc\Common\3DxSUITE\_Installation\_Guide\_ja.pdf

### 3.7.1. TransServer の設定

以下の手順で TransServer の設定を行ってください。

1. TransServer を起動します。

TransServer の起動手順については、Elysium 3DxSUITE インストールガイドの "8.4. 起動手順" を参照してください。

2. TransServer にログインし、[管理者機能] - [コンポーネント管理] で以下のコンポーネントを有効化します。

- dfxacreate
- dfxaupdate
- dfxamerge
- dfxrcreate<sup>\*1</sup>



\*1: dfxrcreate は分析結果をレポートとして出力するためのコンポーネントです。



レポート出力を行うには、Reporter のライセンスが必要です。

3. [管理者機能] > [シナリオ管理] を選択します。表示されたページではシナリオのアップロードと編集を行うことができます。

4. [インポート] をクリックし、表示されたダイアログでシナリオファイル (\*.esa) を指定してシナリオをアップロードします。アップロードに成功すると、ページの上部に通知メッセージが表示されます。



シナリオファイルの詳細は [DFX シナリオリスト](#) を、TransServer 管理者機能の詳細は Elysium 3DxSUITE TransServer 管理者マニュアルを参照してください。

<Base パッケージ>\doc\Front-End\TransServer\3DxSUITE\_TransServer\_Admin\_ja.pdf

## 4. 処理を実行するための設定

本章では、DFAS Studio の処理を実行するために必要となる設定の手順を説明します。

DFAS Studio は、検証の対象となるモデルのインポートや検証の実行、検証結果の出力といった複数の処理を組み合わせることで、ユーザーにとって必要な情報を出力します。このような複数の処理を、どのような順序で実行するかを定義したものを "シナリオ" と呼びます。

検証を実行する際に利用するアプリケーションは、"シナリオフォルダー" にあるシナリオを読み込んで実行します。

以下では、このシナリオフォルダーを設定する手順を説明します。

また、よく利用される検証のパターンについては Elysium で作成したシナリオを DFAS Studio に同梱して提供しています。このシナリオをシナリオフォルダーに配置する手順も併せて説明しています。

### 4.1. シナリオフォルダーの設定と配置

シナリオフォルダーは、3DxSUITE 設定ユーティリティーで設定します。設定ユーティリティーは 3DxSUITE の Component に共通する設定を一括して実施するためのアプリケーションです。本ユーティリティーで設定した内容は、Component の処理に自動的に反映されます。

1. Windows スタートメニューから [Elysium 3DxSUITE] - [3DxSUITE ユーザー共通設定] または [Elysium 3DxSUITE] - [3DxSUITE ローカルユーザー設定] を選択します。<sup>\*1</sup>
2. [機能] タブ - [シナリオ] タブを開きます。
3. "シナリオ フォルダー" に、以下の表のシナリオフォルダー列の値をすべて指定します。  
DFAS Studio で処理を実行する場合、このフォルダー内のシナリオから実行するシナリオを選択することができます。
4. <Scenario パッケージ> を展開して作成されたフォルダーを、以下の表の "シナリオフォルダー" と一致するように配置してください。
  - [+] をクリックすることで、シナリオフォルダーを複数指定できます。
  - シナリオフォルダーにラベルを設定しておくと、シナリオ選択時にシナリオ名と一緒に表示されます。
 ここでは、表のシナリオラベル列の値をそのまま "ラベル" に設定してください。

シナリオラベル	シナリオフォルダー
Check	C:\Users\Public\Documents\Elysium\3DxSUITE\Scenarios_for_DFX\Check
Report	C:\Users\Public\Documents\Elysium\3DxSUITE\Scenarios_for_DFX\Report
Update	C:\Users\Public\Documents\Elysium\3DxSUITE\Scenarios_for_DFX\Update



表と異なるラベルを設定すると Inspector が正しく動作しません。ご注意ください。

\*1: 3DxSUITE 設定ユーティリティーについて



- "3DxSUITE ユーザー共通設定" を選択した場合、当該コンピューター上で 3DxSUITE を使用するすべてのユーザーに適用される内容を設定できます。これに対して "3DxSUITE ローカルユーザー設定" を選択した場合、現在ログインしているユーザーにのみ適用される内容を設定できます。
- "3DxSUITE ローカルユーザー設定" の既定値には、"3DxSUITE ユーザー共通設定" で設定した内容が反映されています。ただし、"3DxSUITE ローカルユーザー設定" で設定を変更して適用すると、それ以降は "3DxSUITE ローカルユーザー設定" で設定した内容が優先されます。
- 3DxSUITE 設定ユーティリティーの詳細は、別冊 "Elysium 3DxSUITE 設定ユーティリティマニュアル" を参照してください。

<Base パッケージ>|doc\Common\3DxSUITE\_common\_setting\_ja.pdf

## シナリオファイルの種類について

シナリオファイルは、外部参照型とファイル埋め込み型の2種類を提供しています。以下では、それぞれのシナリオファイル (\*.esa) の特徴について説明します。

### 外部参照型シナリオファイル

外部参照型シナリオファイルでは、絶対パスでスクリプトアーカイブ<sup>\*2</sup>とパラメーターファイル<sup>\*3</sup>が指定されています。シナリオファイル (\*.esa) 自体にはスクリプトアーカイブもパラメーターファイルも含まれておらず、シナリオファイルの外部にあるそれらのファイルを絶対パスで指定する形でシナリオが定義されています。管理者のみが設定を変更できるようしたい場合は、外部参照型シナリオファイルを使用してください。

外部参照型シナリオファイルは、以下のフォルダーに配置されています。

\Scenarios\_for\_DFX\_filepath\



- 外部参照型シナリオファイルが参照するファイルのパスを変更する場合には、ScenarioEditor を使用してシナリオファイル (\*.esa) を編集してください。
- 外部参照されているパラメーターファイルを編集する場合は、DFAS Studio Parameter Settings Tool を使用してください。
  - 複数のシナリオファイルから外部参照されているパラメーターファイルを編集した場合、複数のシナリオの動作が同時に変更されます。
  - パラメーター設定手順の詳細は、別冊 "DFAS Studio Parameter Settings Tool 操作ガイド" を参照してください。

### ファイル埋め込み型シナリオファイル

ファイル埋め込み型シナリオファイルでは、スクリプトアーカイブ<sup>\*2</sup>とパラメーターファイル<sup>\*3</sup>がシナリオファイル (\*.esa) に含まれています。ユーザーも設定を変更できるようしたい場合は、ファイル埋め込み型シナリオファイルを使用してください。

ファイル埋め込み型シナリオファイルは以下のフォルダーに配置されています。

\Scenarios\_for\_DFX\

- ファイル埋め込み型シナリオに含まれるパラメーターファイルを編集する場合には、以下の手順で実施してください。

1. DFAS Studio Parameter Settings Tool を起動します。

ファイルパス:

- <DFAS Studio Parameter Settings Tool パッケージ>\util\dfas\_studio\_parameter\_settings\_tool\_admin.xlsxm
  - DFAS Studio Parameter Settings Tool でパラメーターを設定し、最後に [別名保存] をクリックして .toml ファイルを保存します。



2. 対象のシナリオを ScenarioEditor で開きます。
3. DFX Analyzer ("DFXA作成"、"DFXA更新"、"DFXレポート作成" のいずれか) を選択します。
4. ウィンドウ右側のパラメーター設定欄で "スクリプト設定ファイル" の下の "ファイル埋め込み" の右にあるフォルダーアイコンをクリックします。
5. "開く" ダイアログで、作成した \*.toml ファイルを指定して [開く] をクリックします。
6. シナリオファイルを上書き保存し、ScenarioEditor を終了します。

\*2: スクリプトアーカイブは、DFX Analyzer の処理内容を記述したスクリプト群のアーカイブファイル (\*.sar) です。

\*3: DFX Analyzer の処理実行時に使用されるオプションの値を指定したファイル (\*.toml) です。

## 4.2. パラメーターファイルの作成

自社の設計標準を用いて DFAS Studio で検証を実行したい場合には、パラメーターファイルを作成もしくは編集して DFAS Studio の処理内容をカスタマイズする必要があります。以下の "DFAS Studio Parameter Settings Tool" を用いてパラメーターの値を編集し、パラメーターファイルを作成してください。

フォルダーパス: <DFAS Studio Parameter Setting Tool パッケージ>\util\

ファイル名: dfas\_studio\_parameter\_settings\_tool\_admin.xlsxm

上記ツールの操作方法については、以下の "DFAS Studio Parameter Settings Tool 操作ガイド" を参照してください。

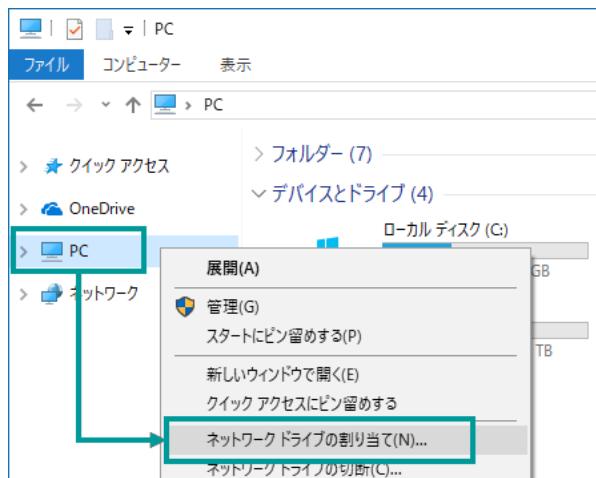
フォルダーパス: <DFAS Studio Parameter Setting Tool パッケージ>\doc\

ファイル名: DFAS\_Studio\_Parameter\_Settings\_Tool\_Manual\_ja.pdf

## 共有ネットワークフォルダーについて

ユーザー間で同じ設定内容(パラメーターファイル)を共有したい場合には、各ユーザーのコンピューターがアクセスできる共有ネットワークフォルダー(例: N:\share)にシナリオファイルを配置しておくと便利です。共有ネットワークフォルダーの設定方法は以下の通りです。(ネットワークフォルダーをUNCパスのままシナリオフォルダーとして指定することでも、同等のことが実現できます)

- [PC] を右クリックして、[ネットワーク ドライブの割り当て] を選択します。



- ドライブ欄から割り当てるドライブ名を選び、フォルダー欄に割り当てる UNC パスを設定します。最後に [完了] をクリックします。



Elysium が提供する外部参照型サンプルシナリオではドライブ名に X ドライブを指定しています。



- この設定は、DFAS Studio を使用するユーザーごとに行ってください。
- 共有ネットワークフォルダーに配置したパラメーターファイルを読み取り専用にすることで、ユーザーによるパラメーターファイルの編集を制限することができます。
- パラメーターファイルを新規に作成した場合、そのファイルをシナリオファイルに組み込む必要があります。シナリオへの組み込み方はシナリオファイルが外部参照型かファイル埋め込み型かによって異なります。詳細は [シナリオファイルの種類について](#) および [シナリオリスト](#) を参照してください。

## TransServer へのパラメーターファイルのアップロード

処理の実行に TransServer を使用する場合には、作成したパラメーターファイルを以下の手順でアップロードする必要があります。

- [管理者機能] > [シナリオ管理] よりパラメーターファイルの内容を反映するシナリオを選択します。
- パラメーターファイルの適用対象となる DFX Analyzer ("DFXA作成"、"DFXA更新"、"DFXレポート作成" のいずれか) を開きます。

3. スクリプト設定ファイル (scriptparameterfile)、スクリプト設定ファイル (アップロード) (scriptparameterfile\_upload)、もしくはパラメーターファイルリスト (parameterfile\_list) でパラメーターファイル (\*.toml) を指定します。
4. 画面下までスクロールして [更新] をクリックします。

## 4.3. シナリオパラメーターセットの作成と更新

### 4.3.1. シナリオパラメーターセットとは

シナリオパラメーターセット (以下 SPS と記載します) とは、シナリオを構成する複数のコンポーネントそれぞれのパラメーター設定状態をひとまとめにして保存しておくための機能です。SPS を使用することで、場面に応じて異なるパラメーターの組み合わせを適用して同じシナリオを実行することが可能になります。

例えば車両内外突起チェック (ENF 向け) のシナリオには、3 種類の SPS がデフォルトで設定されています。

- Headform Exterior Check
  - 外装部品を対象に球体のヘッドフォーム治具を用いた突起検証を行います。
- Headform Interior Check
  - 内装部品を対象に球体のヘッドフォーム治具を用いた突起検証を行います。
- Kneeform Check
  - インパネ以下の部品を対象にニーフォーム治具を用いた突起検証を行います。



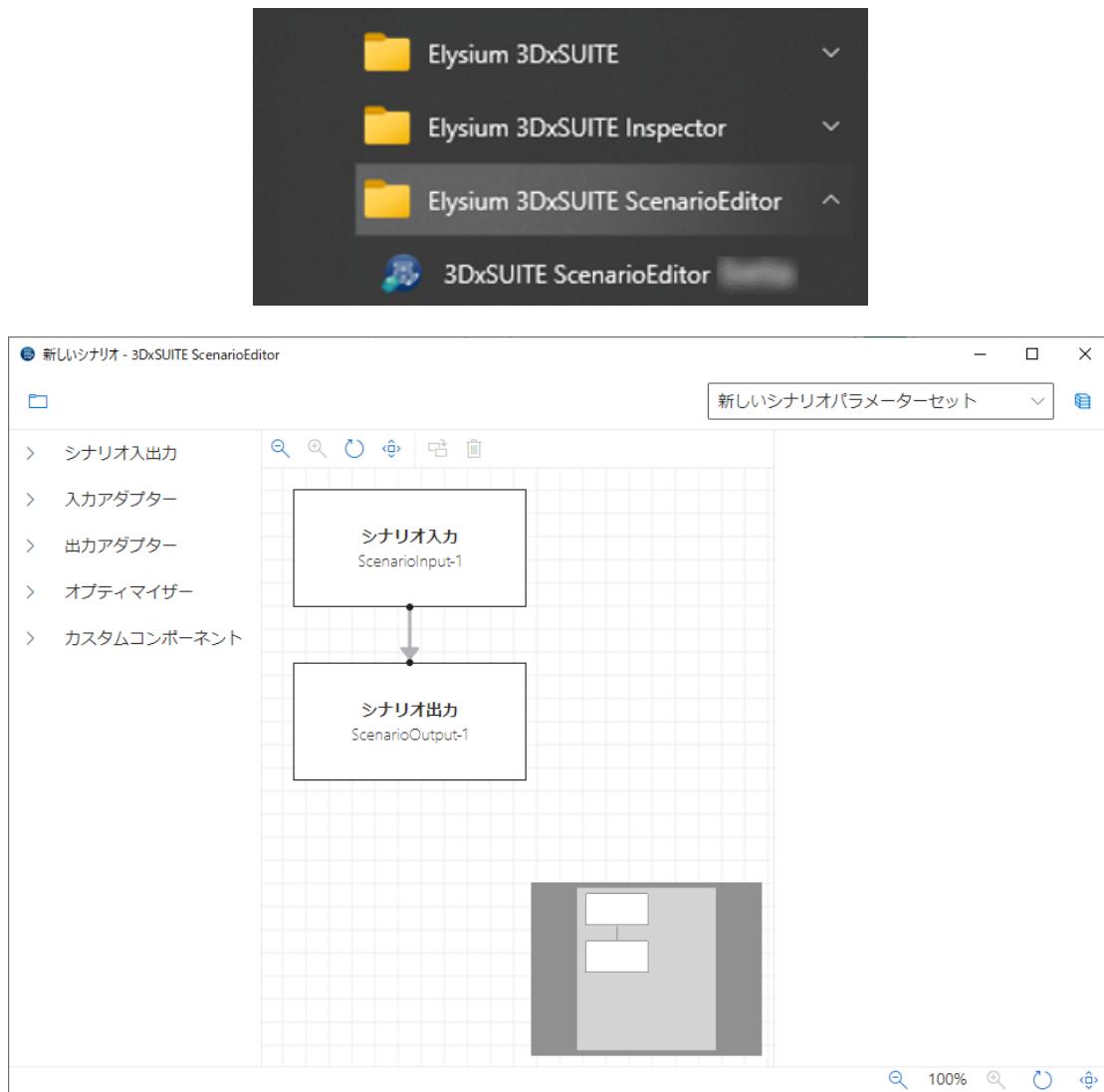
DFAS Studio を TransServer で利用する場合、SPS の設定を行う必要はありません。

### 4.3.2. シナリオパラメーターセットの作成手順

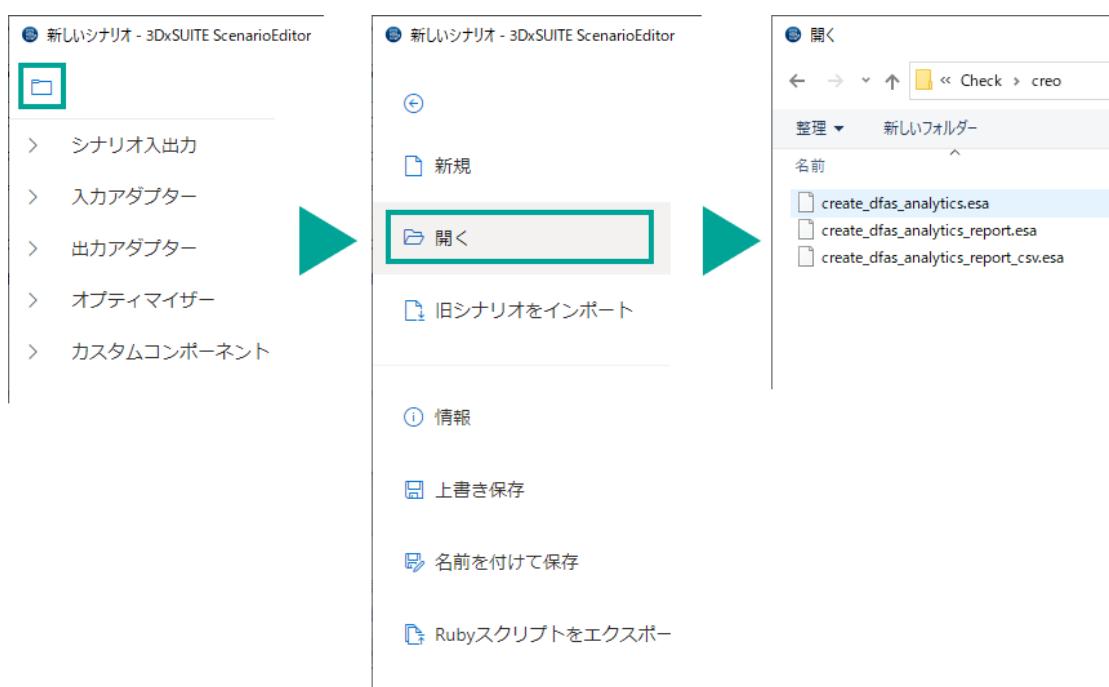
SPS の作成手順は以下の通りです。

以下では例として車両内外突起チェック (ENF 向け) のシナリオを使って説明します。いずれのシナリオであっても手順は同じです。

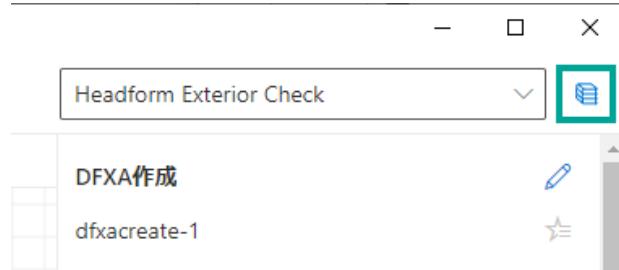
1. Windows スタートメニューから [Elysium 3DxSUITE ScenarioEditor] - [3DxSUITE ScenarioEditor EX9.1] を選択して起動します。



2. SPS を作成する対象となるシナリオを開きます。



3. 画面右上の [シナリオパラメーターセットの管理] (  ) をクリックします。



4. 既存の SPS (例: "Headform Exterior Check") をコピーして編集することで、新たな SPS を作成します。複製したい SPS を選択し [シナリオパラメーターセットのコピー] (  ) をクリックします。

シナリオパラメーターセット

+   

表示名	操作
Headform Exterior Check   	  
Headform Interior Check	  
Kneeform Check	  



SPS をコピーせずに編集すると、デフォルトで設定されているパラメーターの値が更新されてしまいます。

5. 作成された SPS の右側にある [表示名の編集] (  ) をクリックします。

シナリオパラメーターセット

+   

表示名	操作
Headform Exterior Check   	  
Headform Interior Check	  
Kneeform Check	  
<input checked="" type="checkbox"/> Headform Exterior Check_コピー   	  

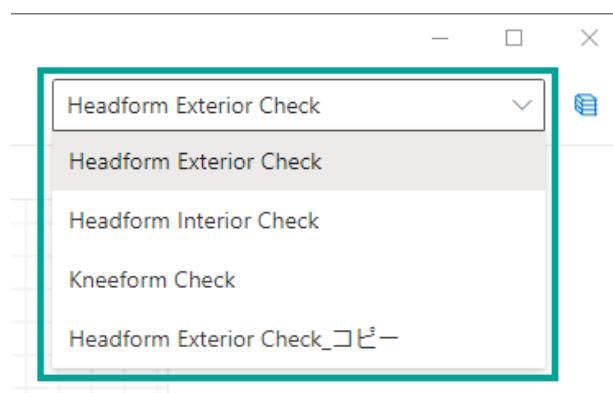
6. SPS の名称を入力後、Enter キーを押します。変更が反映されます。

SPS をダイアログ内でドラッグアンドドロップすることで並び替えることができます。

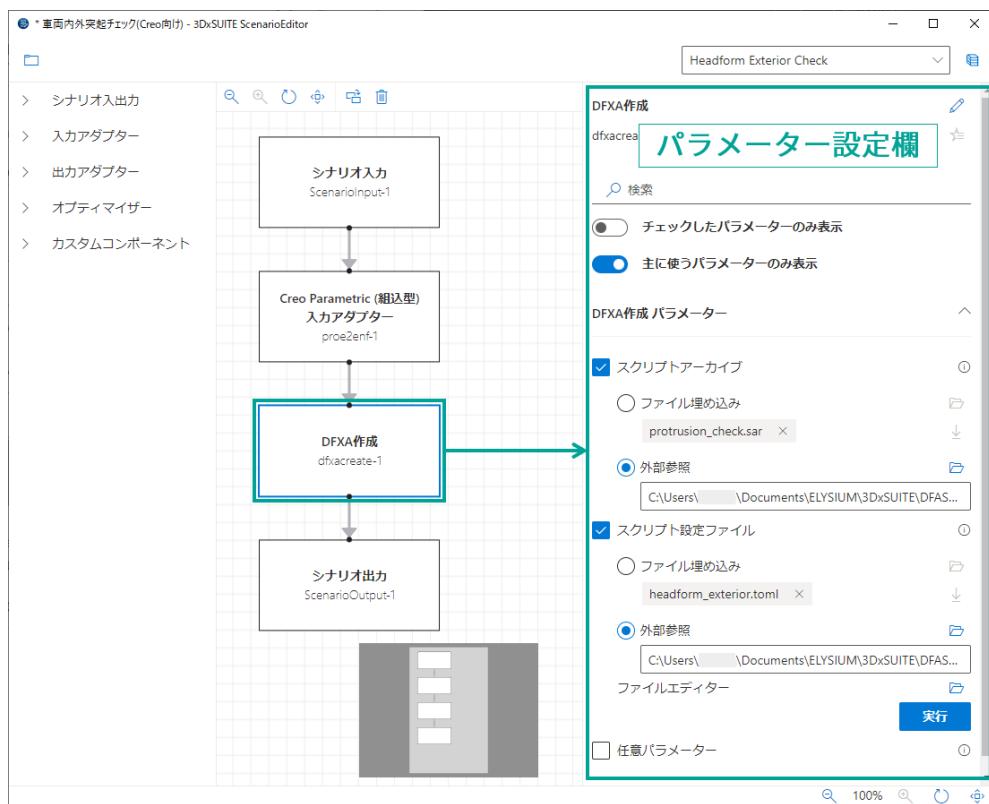


- ここで並び順が SmartLauncher、SmartController、SmartController Pro での SPS の表示順序となります。
- SmartLauncher、SmartController、SmartController Pro でシナリオを実行する際には、一番上の SPS がデフォルトで選択されています。
- ScenarioEditor で既存のシナリオを編集する際も、一番上の SPS がデフォルトで編集対象となります。

7. ダイアログの上部にある をクリックしてダイアログを閉じます。
8. ScenarioEditor 画面右上のプルダウンメニューから、手順 6. で設定した名称の SPS を選択します。



9. DFX Analyzer ("DFXA作成"、"DFXA更新"、"DFXレポート作成" のいずれか) を選択し、スクリプトアーカイブのパラメータに処理内容を記述したスクリプト群のアーカイブ \*.sar を設定します。スクリプト設定ファイルにはパラメーターファイルのパスを設定します。



10. [実行] をクリックします。DFAS Studio Parameter Settings Tool が起動します。
11. 起動した DFAS Studio Parameter Settings Tool でパラメーターを編集し、上書き保存して終了します。
12. シナリオを保存します。シナリオに付随する SPS も同時に保存されます。



操作方法の詳細については "3DxSUITE ScenarioEditor マニュアル (DFAS Studio 向け)" を参照してください。



<Base パッケージ>\  
doc\Utility\_Tool\3DxSUITE\_ScenarioEditor\_Manual\_for\_DFAS\_Studio\_ja.pdf



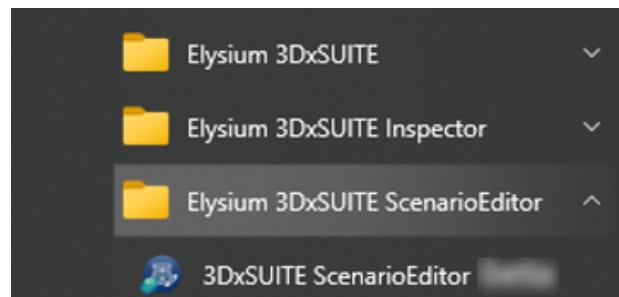
使用するパラメーターファイルの内容だけを変更した SPS を複数用意したい場合は、外部参照型シナリオファイルを使用すると便利です。外部参照されているパラメーターファイルを DFAS Studio Parameter Settings Tool で開いて編集し、別名を付けて保存することで容易に複数のパラメーターファイルが作成できます。こうして作成した複数のパラメーターファイルそれぞれを参照する SPS を作成しておけば、ユーザーが必要に応じて使用するパラメーターの内容を切り替えて処理を行えるようになります。

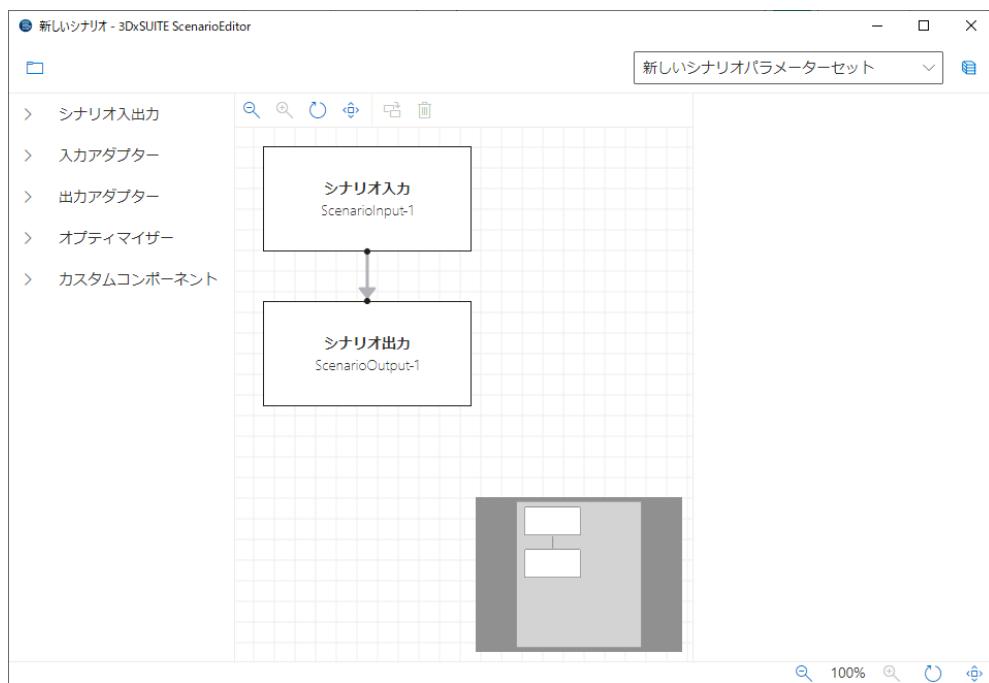
### 4.3.3. シナリオパラメーターセットの更新手順

SPS の更新手順は以下の通りです。

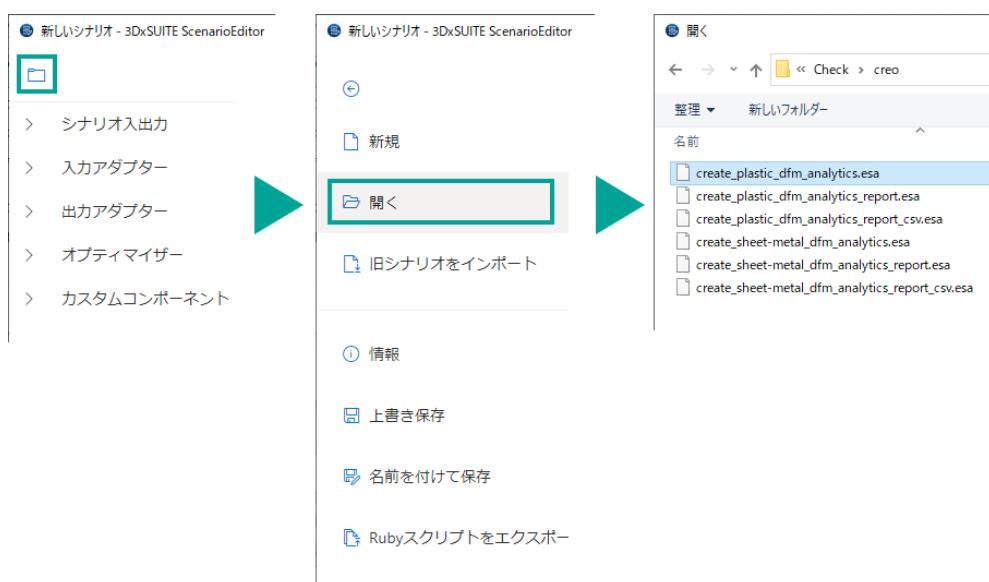
以下では例として、車両内外突起チェック(ENF向け)のシナリオを使って説明します。いずれのシナリオであっても手順は同じです。

1. Windows スタートメニューから [Elysium 3DxSUITE ScenarioEditor] - [3DxSUITE ScenarioEditor EX9.1] を選択して ScenarioEditor を起動してください。

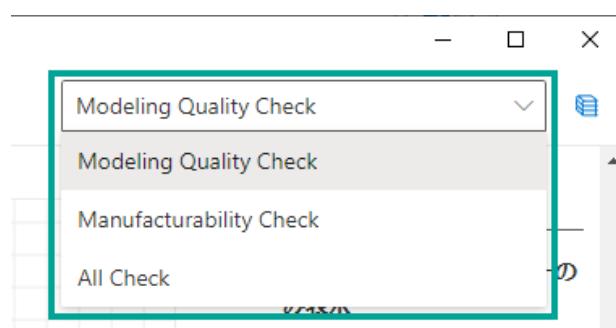




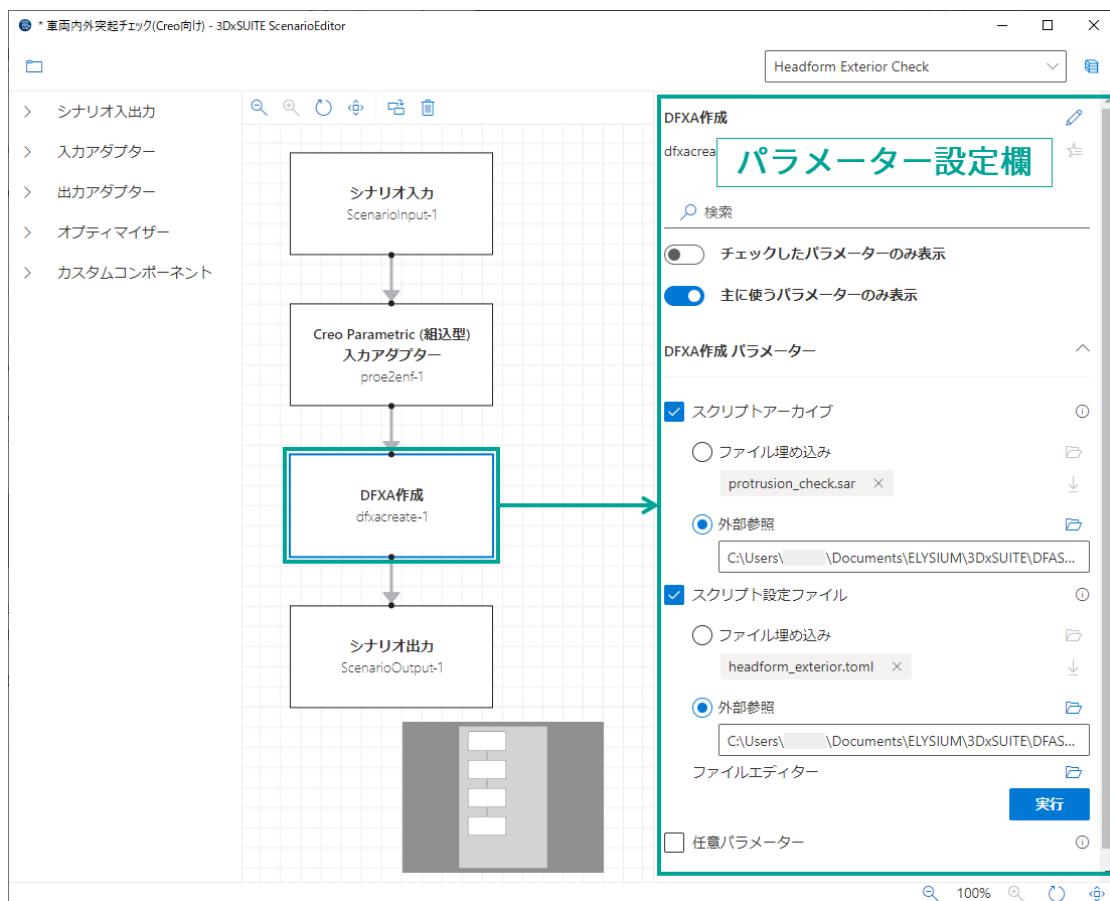
2. SPS を更新する対象となるシナリオを開きます。



3. ウィンドウ右上のプルダウンメニューから、更新したい SPS を選択します。



4. DFX Analyzer ("DFXA作成"、"DFXA更新"、"DFXレポート作成" のいずれか) を選択し、パラメーターを変更します。



5. シナリオを保存します。シナリオに付随する SPS も同時に保存されます。



# 5. 処理結果確認用アプリケーションのインストール

本章では、DFAS Studio の処理結果を確認する際に利用するアプリケーションのインストール手順を説明します。

## 5.1. Model Viewer のインストール

以下のインストーラーを実行して、Model Viewer をインストールしてください。インストール手順の詳細は、別冊 "Elysium 3DxSUITE インストールガイド" の "3. 3DxSUITE Viewer" を参照してください。

- インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE Viewer パッケージ>\
- インストーラー: Elysium\_3DxSUITE\_EX9.1\_Viewer.exe
- Elysium 3DxSUITE インストールガイド:  
<Base パッケージ>\doc\Common\3DxSUITE\_Installation\_Guide\_ja.pdf

## 5.2. Inspector のインストール

以下の手順で Inspector をインストールしてください。事前にインストールする必要のあるアプリケーションなどは特にありません。



インストールは Administrator 権限のユーザーで行ってください。

- Inspector のインストーラーを実行します。
  - インストーラーが含まれるフォルダー: <3DxSUITE Inspector パッケージ>\
  - インストーラー: Elysium\_3DxSUITE\_EX9.1\_Inspector.exe
- インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。
- Inspector のインストールウィザードが表示されます。[次へ] をクリックします。
- 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には "使用許諾契約の条項に同意します" を選択してから [次へ] をクリックします。
- インストール先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。デフォルトのインストール先から変更する場合は、[変更] をクリックして変更先フォルダーを指定します。指定が完了したら、[次へ] をクリックします。



インストール先フォルダーのパスは ASCII 文字のみで構成されるようにしてください。フォルダーパスに非 ASCII 文字が含まれている場合、アプリケーションが想定通りに動作しない場合があります。

- [インストール] をクリックしてインストールを開始します。

7. インストールが終了したら [完了] をクリックしてダイアログを閉じます。
8. スタートメニューから [Elysium 3DxSUITE Inspector] - [3DxSUITE Inspector EX\*.\*] を選択して Inspector が正常に起動することを確認します。



Inspector 実行時には、以下のフォルダーの変更権限が必要です。  
起動に失敗する場合は、これらのフォルダーに対する変更権限があるかを確認してください。

- %TMP%、%TEMP%、%APPDATA%
- ファイル出力フォルダー

## 6. 付録

### 6.1. DFAS Studio 関連製品のアンインストール手順

DFAS Studio 関連製品のアンインストール手順は以下の通りです。

#### 6.1.1. DFX Analyzer

1. Windows スタートメニューから [設定](ギアマーク) を選択します。
2. [アプリ] を選択します。
3. "アプリと機能" に表示されたアプリケーションの一覧から、"Elysium 3DxSUITE DFX Analyzer EX9.1" を選択して、アンインストールを実行します。

#### 6.1.2. Inspector

1. Windows スタートメニューから [設定](ギアマーク) を選択します。
2. [アプリ] を選択します。
3. "アプリと機能" に表示されたアプリケーションの一覧から、"Elysium 3DxSUITE Inspector EX9.1" を選択して、アンインストールを実行します。

### 6.2. DFAS Studio 関連製品のサイレントインストール手順

サイレントインストールでは、インストーラーの GUI 操作を行うことなく製品を導入できます。複数のコンピューターへのインストールを行う際などに便利な機能です。

DFAS Studio 関連製品のサイレントインストール手順は以下の通りです。

#### 6.2.1. DFX Analyzer

管理者権限で起動したコマンドプロンプトで以下のコマンドを実行してください。このコマンドはサンプルです。 [コマンドライン引数](#)を参考にして、適宜変更してください。

```
D:\share\installer\setup.exe /s /v"/l* ^""C:\temp\install.log"^""  
INSTALLDIR="^""C:\Program Files\Elysium\Inspector\v"^"" /qn"
```

#### 6.2.2. Inspector

管理者権限で起動したコマンドプロンプトで以下のコマンドを実行してください。このコマンドはサンプルです。 [コマンドライン引数](#)を参考にして、適宜変更してください。

```
D:\share\installer\setup.exe /s /v"/l* ^"C:\temp\install.log" ^
INSTALLDIR="^"C:\Program Files\Elysium\Inspector\v" /qn"
```

## 6.3. DFAS Studio 関連製品のサイレントアンインストール手順

### 6.3.1. DFX Analyzer

管理者権限で起動したコマンドプロンプトで以下のコマンドを実行してください。このコマンドはサンプルです。 [コマンドライン引数](#)を参考にして、適宜変更してください。

```
D:\share\installer\setup.exe /s /x /v"/l* ^"C:\temp\uninstall.log" /qn"
```



現在インストールされているバージョンの DFX Analyzer のインストーラーが必要です。

### 6.3.2. Inspector

管理者権限で起動したコマンドプロンプトで以下のコマンドを実行してください。このコマンドはサンプルです。 [コマンドライン引数](#)を参考にして、適宜変更してください。

```
D:\share\installer\setup.exe /s /x /v"/l* ^"C:\temp\uninstall.log" /qn"
```



現在インストールされているバージョンの Inspector のインストーラーが必要です。

#### コマンドライン引数

サイレントインストールを実行する際にインストーラー (setup.exe) に渡すコマンドライン引数の一覧です。

コマンド引数	説明
/s	インストールやアンインストールをサイレントモードで実行します。
/x	アンインストールを実行します。
/x	設定しない場合はインストールが実行されます。

コマンド引数	説明
/v	/v"<引数 1> <引数 2> ..." という形式で以下の引数を指定します。 (Msieexec に引数を渡す) <ul style="list-style-type: none"><li>• /qn : インストール時にダイアログを表示しません。</li><li>• /qn+ : インストール完了時にダイアログを表示します。</li><li>• /l* \"&lt;ログファイル&gt;\": ログファイルのパスを指定します。 (/l* とファイル名の間に半角スペースが必要)</li><li>• INSTALLDIR=\"&lt;インストールフォルダー&gt;\": インストール先のフォルダーを指定します。 (インストール時のみ指定が必要)</li></ul>

## 7. DFX シナリオリスト

シナリオファイル名	シナリオ表示名
Check\creo\create_dfas_analytics.esa	車両内外突起チェック (Creo 向け)
Check\creo\create_dfas_analytics_report.esa	車両内外突起チェック_エクセルレポート付 (Creo 向け) <sup>*1</sup>
Check\creo\create_dfas_analytics_report_csv.esa	車両内外突起チェック_CSVレポート付 (Creo 向け) <sup>*1</sup>
Check\enf\create_dfas_analytics.esa	車両内外突起チェック (ENF 向け)
Check\enf\create_dfas_analytics_report.esa	車両内外突起チェック_エクセルレポート付 (ENF 向け) <sup>*1</sup>
Check\enf\create_dfas_analytics_report_csv.esa	車両内外突起チェック_CSVレポート付 (ENF 向け) <sup>*1</sup>
Check\nx\create_dfas_analytics.esa	車両内外突起チェック (NX 向け)
Check\nx\create_dfas_analytics_report.esa	車両内外突起チェック_エクセルレポート付 (NX 向け) <sup>*1</sup>
Check\nx\create_dfas_analytics_report_csv.esa	車両内外突起チェック_CSVレポート付 (NX 向け) <sup>*1</sup>
Check\solidworks\create_dfas_analytics.esa	車両内外突起チェック (SOLIDWORKS 向け)
Check\solidworks\create_dfas_analytics_report.esa	車両内外突起チェック_エクセルレポート付 (SOLIDWORKS 向け) <sup>*1</sup>
Check\solidworks\create_dfas_analytics_report_csv.esa	車両内外突起チェック_CSVレポート付 (SOLIDWORKS 向け) <sup>*1</sup>
Report\create_dfas_report.esa	車両内外突起チェック用エクセルレポート出力 <sup>*1</sup>
Report\create_dfas_csv_report.esa	車両内外突起チェック用CSVレポート出力 <sup>*1</sup>
Update\update_dfas_analytics.esa	車両内外突起チェック (再検証)



\*1: レポート出力を行うには、Reporter のライセンスが必要です。

本コンテンツに関する著作権は株式会社エリジオンもしくは原権利者に帰属しています。  
著作権者の承諾なしに無断で改変、複製、転載、再配布、転送、公衆送信、販売、貸与などの  
行為をすることは禁じられています。